【平泉町水辺プラザの概要】

①北上川水系北上川（岩手県平泉町）

平泉町は、中尊寺などの奥州藤原氏の**文化遺産**が数多く残っている町であり、**平成２０年度**を目標に**世界遺産の登録認定を目指しています**。

当該地区は北上川を機軸として、**平泉の文化や歴史、自然等を素材**とし、**地域交流拠点となる水辺プラザ整備を平泉町と国が連携して実施**し、あわせて既存の自然を活かした親水空間の創出を図るものです。



【事業の概要とポイント】

＜水辺プラザ＞

本事業は、市町村にある**水辺の魅力を最大に引き出す整備**により、そこを訪れたくなるような、**地域交流の拠点となる「にぎわいのある水辺」を創出**するため、市町村の行う河川、渓流沿いの**交流拠点整備と一体・連携して河川整備を実施**するものです。

水辺プラザの整備を行うためには、地域の特色を活かした整備計画を登録する必要があり、水辺プラザの必要性、市町村の活用計画等の熟度の高いものを登録しています。

水辺プラザとしての登録は、平成８年から始まり、今年度新規５箇所を登録することにより、全国で１２１箇所が「水辺プラザ」に登録されました。

東北地方では今回、平泉町の１箇所が追加登録となることで、計２７箇所になりました。

※東北地方における水辺プラザのこれまでの登録状況は、以下の「東北地方整備局ホームページ」でご覧いただけます。

≪http://www.thr.mlit.go.jp/≫

東北地方整備局のしごと　⇒　河川　⇒　河川環境整備事業のあゆみ　⇒　水辺プラザ